

建設みえ

No.316

令和7年7月15日発行
(奇数月発行)



も く じ

● 第65回定時総会を開催	2
● 晴れの受賞者	4
● 一般社団法人三重県建設業協会、三重県建設産業 団体連合会、三重県土木施工管理技士会、合同表 彰式を開催	5
● 晴れの受賞者	6
● 令和7年度受賞者名簿	7
● 令和7年度優秀施工者知事表彰受彰者	9
● 令和7年度技士会受賞者名簿	10
● 晴れの受賞者	11
● 令和7年度支部総会を開催	12
● 令和7年度建設業新入社員研修会を開催	14
● おしらせ①	15
● おしらせ②	17
● 会員の異動	18
● 協会日誌	18

2025. JUL.

7

発行所/一般社団法人三重県建設業協会

〒514-0003 津市桜橋二丁目177の2

TEL. 059-224-4116

発行人/稗田寿次郎・編集人/坂三雅人

編集協力/榊建通新聞社

第65回 定時総会を開催



竹上亀代司会長

一般社団法人三重県建設業協会は去る6月4日(水)14時15分から三重県総合文化センター内 フレンテみえ フレンテホールにおいて第65回定時総会を開催しました。

総会当日は、三重県知事 一見 勝之様、三重県議会議長 服部 富男様、三重県議会県土整備企業常任委員長 龍神 啓介様、国土交通省中部地方整備局長 佐藤 寿延様、国土交通省近畿地方整備局 建政部 建設産業調整官 西岡 宏之様、国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所長 臼井 義幸様、厚生労働省 三重労働局長 石田 聡様、厚生労働省 三重労働局 監督課長 宮内 一寿様をはじめ多数のご来賓にご臨席いただきました。

冒頭、竹上会長は、臨席いただいた来賓に対し謝辞を述べるとともに、建設産業を取り巻く状況は、担い手確保、適正な利潤の確保、さらに、激甚化、頻発化する災害への対応などさまざまな対応が求められています。

このような現状をふまえ、当協会では、担い手確保について、技術者等のキャリアアップや若手技術者の定着の取組を進めるとともに、女性が生き生きと活躍できる環境づくりに取り組むなど、建設産業の魅力ある職場づくりに努めているところです。

また、生産性向上、特に建設DXに関しては、発注者側の行政との意見交換を重ね取組を進めているところです。

さらに、建設産業の災害時の「地域の守り手」としての役割を果たすため、毎年、全会員の参加による災害対応実働訓練を実施し、県内だけでなく県外の災害支援にも備え、取り組んでいるところです。

災害対応については、南海トラフ地震による津波等の甚大な被害が予想される志摩半島、東紀州地域の半島地域をはじめ、県内各地域の国土強靱化を早急に充実することが重要です。

国におかれては、新た



一見勝之知事



服部富男議長





な「国土強靱化実施中期計画」により、各県・各地域の実情に応じ、来年度以降の計画執行にあたることを、是非お願いしたいと思います。

こうしたさまざまな取組を通じ、どの地域の建設企業においても、将来にわたり足腰の強い体質をもち、地域における社会的役割をしっかりと果たすとともに、建設産業が一層発展していくよう、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

当協会としては、今後も、国や県と連携を密にし、建設産業を取り巻く課題に全力で対応してまいりますので、より一層のご理解と



ご協力を賜りたいと挨拶し、会員各位の理解と協力を求められました。

次に、三重県知事表彰式では多年建設業界の発展に尽力し公共事業の推進と中小企業の振興に努めた功績により、一見三



石田聡労働局長

重県知事より中井 俊彦様、上山 勝久様、吉川 松喜様に賞状が授与されました。

次に、一見勝之三重県知事様、服部富男三重県議会議長様、佐藤寿延国土交通省中部地方整備局長様、石田 聡厚生労働省三重労働局長様から祝辞が述べられました。

議事に移り、第1号議案 令和6年度 事業報告、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録承認の件、第2号議案 令和7年度 事業計画（案）ならびに収支予算（案）承認の件、第3号議案 定款の一部改正（案）承認の件、第4号議案 監事の選任の件について審議され、いずれも原案どおり可決・承認されました。

なお、総会に来賓としてお越しいただいた皆様は次のとおりです。

一般社団法人三重県建設業協会 第65回定時総会来賓名簿

1	三重県知事	一 見 勝 之
2	三重県議会 議長	服 部 富 男
3	三重県議会 県土整備企業常任委員長	龍 神 啓 介
4	国土交通省 中部地方整備局長	佐 藤 寿 延
5	国土交通省 近畿地方整備局長	(長谷川 朋 弘)
	国土交通省 近畿地方整備局 建政部 建設産業調整官	西 岡 宏 之
6	国土交通省 近畿地方整備局 木津川上流河川事務所長	白 井 義 幸
7	厚生労働省 三重労働局長	石 田 聡
8	厚生労働省 三重労働局 監督課長	宮 内 一 寿
9	三重県県土整備部長	若 尾 将 徳
10	三重県県土整備部理事	上 村 告
11	三重県県土整備部公共事業運営課長	林 田 充 弘
12	三重県県土整備部技術管理課長	濱 瀬 賢 司
13	三重県県土整備部建設業課長	内 山 幸 治
14	三重県農林水産部長	枅 屋 典 子
15	三重県企業庁長	河 北 智 之
16	次期参議院議員選挙比例代表候補者 見坂茂範様代理 元中部地方整備局長	塚 原 浩 一

(敬称略・順不同)

晴れの受賞者

三重県知事表彰

令和7年度三重県知事表彰の栄に輝きました。
誠におめでとうございます。



中井 俊彦氏（松阪支部）

中井土木 株式会社 代表取締役



上山 勝久氏（松阪支部）

株式会社 上山組 代表取締役



吉川 松喜氏（伊勢支部）

吉川建設 株式会社 代表取締役

一般社団法人三重県建設業協会、 三重県建設産業団体連合会、 三重県土木施工管理技士会、 合同表彰式を開催

一般社団法人三重県建設業協会、三重県建設産業団体連合会、三重県土木施工管理技士会、合同表彰式を去る6月4日（水）15時50分から三重県総合文化センター内 フレンテみえ フレンテホールにおいて開催しました。表彰式では、三重県建設業協会、三重県建設産業団体連合会、三重県土木施工管理技士会の順に表彰を行いました。初めに、永年建設業に従事され、建設業界の発展に尽力され、他の模範となる功績のあった方々に対する、顕彰・表彰を行いました。第61回（令和7年）県民功労者表彰を受章された山下 晃様、令和6年国土交通大臣表彰建設事業関係功労を受賞された中村 哲也様、西尾 亮様に竹上会長からそれぞれ顕彰状が授与されました。



山下晃氏



西尾亮氏



中村哲也氏

続いて、竹上会長より一般社団法人全国建設業協会会長表彰の伝達が20名に行われ、その後一般社団法人三重県建設業協会会長表彰の表彰が55名に行われました。

次に、三重県建設産業団体連合会の表彰に移り、三重県県土整備部理事 上村 告様から優秀施工者三重県知事表彰を受賞された6



全建会長表彰



浜村弘司氏



三重会長表彰



西岡眞氏

名に表彰状が授与されました。

最後に三重県土木施工管理技士会の表彰に移り、平野会長より一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会会長表彰の伝達が6名に行われ、その後三重県土木施工管理技士会会長表彰が39名に行われました。



優秀施工者知事表彰



全国技士会会長表彰



三重県技士会会長表彰



川北貴史氏

晴れの受賞者

第61回(令和7年)県民功労者表彰



第61回（令和7年）県民功労者表彰の栄に輝かれました。
誠におめでとうございます。

山下 晃 氏（四日市支部）
アイトム建設 株式会社 代表取締役会長

国土交通大臣表彰

令和6年国土交通大臣表彰の栄に浴されたことを受け、
当協会より顕彰をしました。おめでとうございます。



建設事業関係功労者

中村 哲也 氏（伊勢支部）
株式会社 伊藤工務店 代表取締役



建設事業関係功労者

西尾 亮 氏（志摩支部）
丸文工業 株式会社 代表取締役

令和7年度受賞者名簿

一般社団法人 全国建設業協会 会長表彰受賞者

(19名・1事業場)

規程第2条4号該当

(7名)

支部名	会社名	役職名	氏名
鈴鹿	㈲浜村工務店	代表取締役	浜村 弘司
鈴鹿	㈲佐野組	代表取締役	佐野 耕一
伊勢	朝日丸建設㈱	代表取締役	牧原 康
伊勢	㈲森田建設	代表取締役	森田 富守
志摩	村瀬建設㈱	代表取締役	村瀬 敬一
伊賀	㈲丸栄建設	代表取締役	菊山 賢二
熊野	㈲薮根組	代表取締役	薮根 徹

規程第4条1号該当

(1事業場)

支部名	会社名	役職名	氏名
志摩	セイケン工業㈱	代表取締役	西澤 正泰

規程第5条該当

(12名)

支部名	会社名	役職名	氏名
四日市	アイトム建設㈱		辻村 仁之
四日市	横内建設㈱		細野 光昭
鈴鹿	㈲大久保建設		山下 有生
亀山	㈲山内建設		服部 明也
津	東海土建㈱		南 隆広
津	東海土建㈱		高山 国土
松阪	㈲上山組		上垣 覚
松阪	㈲北村組		堀口 政宏
伊勢	㈲堀崎組		鳴川 容
志摩	㈲石吉組		宇田 芳喜
志摩	㈲石吉組		大形 良彦
伊賀	㈲川島工業		森岡 龍彦

一般社団法人 三重県建設業協会 会長表彰受賞者

(53名・2事業所)

規程第2条4号該当

(8名)

支 部 名	会 社 名	役 職 名	氏 名
四 日 市	北三重技建㈱	代表取締役	小 林 寛 也
四 日 市	大和宏業㈱	代表取締役	歸 山 朋 也
亀 山	㈱米倉建設	代表取締役	米 倉 巧 治
亀 山	㈱豊田衛生	代表取締役	豊 田 和 人
伊 勢	㈱堀崎組	代表取締役	西 岡 眞
伊 勢	稲葉建設㈱	代表取締役	松 岡 久 雄
志 摩	㈱中村土木	代表取締役	中 村 幸 広
熊 野	㈱山口建設	代表取締役	尼 嶋 勉

規程第2条8号該当

(1名)

支 部 名	会 社 名	役 職 名	氏 名
尾 鷲	㈱丸昇建設	代表取締役	瀬 川 桂

規程第4条1号該当

(2事業所)

支 部 名	会 社 名	役 職 名	氏 名
伊 勢	梅田建設㈱	代表取締役	梅 田 成 壽
伊 勢	南和建設㈱	代表取締役	小 谷 幸 久

規程第5条該当

(44名)

支 部 名	会 社 名	役 職 名	氏 名
桑 員	㈱ナガシマ		太 田 昭 則
桑 員	㈱ナガシマ		秋 山 成 機
桑 員	㈱三輪建設		岸 本 幸 美
桑 員	㈱出口組		長 田 俊 昭
桑 員	㈱出口組		石 川 康 司
四 日 市	岡田工業㈱		首 藤 昭 義
四 日 市	㈱久志本組		高 瀬 誠
四 日 市	㈱久志本組		伊 藤 優 次
四 日 市	日進建設㈱		築 地 一 彦
四 日 市	松岡建設㈱		山 下 右 倫
四 日 市	松岡建設㈱		水 谷 秀 樹

四 日 市	朝日土木㈱		増 田 智 重 子
四 日 市	朝日土木㈱		加 藤 晴 樹
四 日 市	アイトム建設㈱		蔭 西 哲 治
四 日 市	藤原工業㈱		近 藤 厚
四 日 市	生川建設㈱		松 永 和 比 呂
四 日 市	生川建設㈱		森 幹 弘
鈴 鹿	勢州建設㈱		北 川 一 行
鈴 鹿	西口建工㈱		四至本 美 宏
鈴 鹿	イケダアクト㈱		三 角 泰 之
亀 山	堀田建設㈱		林 陽 次
亀 山	堀田建設㈱		豊 住 卓 也
津	日本土建㈱		西 川 充 則
津	日本土建㈱		中 川 基 司
松 阪	㈱北村組		植 村 雅 紀
松 阪	㈱北村組		中 西 良 太
松 阪	㈱田村組		上 村 尚
松 阪	中井土木㈱		若 松 努
松 阪	丸亀産業㈱		加 藤 洋 行
松 阪	丸亀産業㈱		中 山 亮
伊 勢	浜口土木㈱		小久保 光 久
伊 勢	大達建設㈱		小 倉 一 生
伊 勢	㈱谷口組		谷 口 徳 明
伊 勢	㈱谷口組		中世古 一 秋
伊 勢	宮本建設㈱		柳 生 直 司
伊 勢	宮本建設㈱		藤 村 元 哉
志 摩	㈱中村土木		羽 根 典 子
志 摩	磯部建設工業㈱		森 口 孝 記
志 摩	㈱山本建材		谷 口 優
志 摩	村瀬建設㈱		村 井 康 宏
伊 賀	和興舗道㈱		山 岡 聖 典
伊 賀	㈱西山組		森 藤 力
伊 賀	㈱西山組		中 森 博 昭
伊 賀	壬生野土木㈱		廣 嶋 芳 明

令和7年度 優秀施工者知事表彰受表彰者

三重県では、建設工事の第一線で直接工事に従事し、優れた技術・技能を持っている技術者又は技能者を表彰し、「ものづくり」に携わっている建設現場で働く人々の誇りと意欲を増進し、その社会的評価・地位の向上を図り建設業の健全な発展に資することを目的として、優秀な施工者を表彰することとしています。

令和7年度は、次の6名の方が表彰の栄誉に浴されました。

おめでとうございます。

優秀技術者



佐藤 一也氏

(四日市支部)
藤原工業 株式会社



木下 幸宏氏

(松阪支部)
中井土木 株式会社



岡野 敏氏

(伊勢支部)
稲葉建設 株式会社



大原 景三氏

(伊賀支部)
株式会社 竹島建設



工藤 隆之氏

(伊賀支部)
大同建設工業 株式会社



梅田 武史氏

((一社)三重県造園建設業協会)
有限会社 たつみ造園

令和7年度 技士会 受賞者名簿

一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会 会長表彰

令和7年6月4日（敬称省略）

氏 名	会 社 名	表 彰 名
樋 口 雄 介	朝日土木㈱	令和6年度 優良工事技術者表彰
敵 正	朝日土木㈱	令和6年度 優良工事技術者表彰
樋 口 友 弥	松岡建設㈱	令和6年度 優良工事技術者表彰

丹 所 昇	三重農林建設㈱	令和6年度 優良工事技術者表彰
中 西 伸 弘	㈱山野建設	令和6年度 優良工事技術者表彰
嶋 田 貴 志	㈱塩谷組	令和6年度 優良工事技術者表彰

三重県土木施工管理技士会 会長表彰

（敬称省略）

氏 名	会 社 名	表 彰 名
井 出 昇	㈱伊藤水道建設	令和6年度 三重県会長表彰
水 谷 隆 宏	日本興業㈱	令和6年度 三重県会長表彰
藤 井 陽 一	㈱藤井建設	令和6年度 三重県会長表彰
安 井 健 二	㈱ナガシマ	令和6年度 三重県会長表彰
川 北 貴 史	㈱久志本組	令和6年度 三重県会長表彰
川 出 勝 己	信藤建設㈱	令和6年度 三重県会長表彰
達 佳 史	㈱富洋組	令和6年度 三重県会長表彰
山 際 貴 大	須賀㈱	令和6年度 三重県会長表彰
三 村 幸 司	㈱井上工業	令和6年度 三重県会長表彰
加 藤 敏 博	西口建工㈱	令和6年度 三重県会長表彰
前 山 範 和	堀田建設㈱	令和6年度 三重県会長表彰
清 水 善 彦	日本土建㈱	令和6年度 三重県会長表彰
野 田 貴 信	日本土建㈱	令和6年度 三重県会長表彰
若 林 洋 一	㈱河合組	令和6年度 三重県会長表彰
西 村 宏 行	㈱佐南組	令和6年度 三重県会長表彰
杉 崎 和 幸	㈱林組	令和6年度 三重県会長表彰
後 藤 裕 治	㈱大村建設	令和6年度 三重県会長表彰
西 村 守	中村土建㈱	令和6年度 三重県会長表彰
酒 徳 浩 伸	丸亀産業㈱	令和6年度 三重県会長表彰

松 林 省 吾	㈱西組	令和6年度 三重県会長表彰
柳 瀬 和 輝	㈱北村組	令和6年度 三重県会長表彰
山 本 拓 希	㈱中建	令和6年度 三重県会長表彰
松 井 政 志	㈱フォーレスト	令和6年度 三重県会長表彰
小 原 誠	㈱森組	令和6年度 三重県会長表彰
松 田 峻	㈱森組	令和6年度 三重県会長表彰
西 口 陽 介	下建設㈱	令和6年度 三重県会長表彰
亀 川 友 喜	㈱亀川組	令和6年度 三重県会長表彰
松 崎 将 司	㈱マツザキ	令和6年度 三重県会長表彰
山 岡 武 夫	㈱マツザキ	令和6年度 三重県会長表彰
垣 内 徳 哉	㈱平野組	令和6年度 三重県会長表彰
工 浩 士	㈱平野組	令和6年度 三重県会長表彰
坂 本 友 二	㈱五味建設	令和6年度 三重県会長表彰
玉 本 尚 克	㈱岡本組	令和6年度 三重県会長表彰
橋 本 考 也	㈱橋本組	令和6年度 三重県会長表彰
寺 地 敦	㈱宝龍建設	令和6年度 三重県会長表彰
柳 本 泰 寛	ユウテック㈱	令和6年度 三重県会長表彰
上 岡 芳 英	日本土木工業㈱	令和6年度 三重県会長表彰
上 地 理 照	㈱ウエジ建設	令和6年度 三重県会長表彰

晴れの受賞者

国土交通大臣表彰

令和7年国土交通大臣表彰の栄に輝きました。
誠におめでとうございます。



建設事業関係功労者

酒井 隆氏（桑員支部）

富山建設 株式会社 代表取締役



建設事業関係功労者

松岡 伸年氏（四日市支部）

松岡建設 株式会社 代表取締役社長

令和7年度 支部総会を開催

(敬称略)

桑員支部

4月24日、桑名市内で総会を開いた。

酒井隆支部長は「地域建設業の重要性が社会的に認識されてきた面もある。無事故無災害でこの認識を大切にしていきたい」とあいさつした。

令和7年度は、公共事業予算の確保などに関する要望活動や人材確保や人材育成に関わる対策強化、イメージアップ、コンプライアンスの強化の推進、講習会や研修会の開催などを計画している。

四日市支部

4月24日、四日市市内で第77回定時総会を開いた。

伊藤秀樹支部長は「建設業界では働き方改革や資材高騰への対応など変化への対応が急務となっている。その中で持続的な事業の継続とともに地域の守り手として活躍していこう」と述べ、各事業への協力を呼び掛けた。

令和7年度は、国や県、市町など関係機関との意見交換会、高校生を対象とした出前授業の開催、社会貢献活動などを計画している。

鈴鹿支部

4月24日に鈴鹿市内で定時総会を開いた。

中尾達也支部長は「『地域インフラの担い手』としての社会的使命がある。今後も持続的にその役割を果たしていくためには担い手の確保が重要となり、魅力的な職場が求められる。健全な発展のための構造改善に取り組んでいきたい」とあいさつした。

令和7年度は、公共事業の受注機会の確保への要望、各企業の人材育成支援、合同訓練に取り組む。

亀山支部

4月23日に亀山市内で通常総会を開いた。

堀田誠支部長は、「今まで以上に情報の水平展開を密にやっていきたい。現場の困りごとを県や市に要望していくので、声を上げてほしい」と呼び掛けた。

令和7年度事業計画には建設業界の情報提供・魅力発信、南海トラフ地震への備え、地域建設企業の発展のための取り組みなどを盛り込んだ。

津支部

4月30日、津市内で通常総会を開いた。

田村頼一支部長は、「建設業界の使命は、災害に強い社会資本整備を行い、市民の生命と財産を守ること。災害はいつ発生するかわからない。日ごろから関係者間での連携を密に」と会員に呼び掛けた。

令和7年度は、行政への公共投資推進に関する陳述・要望・提案、教育機関との連携したインターンシップや現場見学会などを計画している。

一志支部

4月24日、津市内で通常総会を開いた。

藤谷文彦支部長は、「昨年度は担い手確保やDX推進などの取り組みに積極的に取り組んでもらった。今年度は行政との関係をより密なものにしていく」などとあいさつした。

令和7年度は、受注機会や発注計画に関する要望活動、ICT施工の推進、現場見学の開催などを通して人材育成と確保、ボランティア活動などを計画している。

松阪支部

4月21日、松阪市内で第65回定時総会を開いた。

中井俊彦支部長は「次世代を育てていく上で、どのような協会にしていきたいかを考えながら協会運営に励みたい」とあいさつした。

令和7年度は、地域の安心・安全の守り手として災害に対処するための取り組みや、建設業の人材確保・人材育成につながる対策を推し進める。

伊勢支部

4月23日、伊勢市内で定時総会を開いた。

中村哲也支部長は、「昨年は若者の育成や担い手確保に取り組んだ一年だった。これからも担い手確保など、協会の運営に協力してほしい」とあいさつした。

令和7年度は、担い手確保に向けた出前授業やインターンシップの実施などを計画している。

志摩支部

4月30日、志摩市内で第69回定時総会を開催した。

西尾亮支部長は「担い手不足や物価高騰、気候変動などの問題と向き合い、持続可能な建設業の実現に向けて協力してほしい」と呼びかけた。

令和7年度は、ホームページの充実化や建設フェスタの開催による情報発信の強化、大規模地震後の復旧・復興活動プロセス調査・研究などを計画している。

伊賀支部

4月28日、伊賀市内で定時総会を開いた。

堀池和茂支部長は、「伊賀、名張地域への予算確保に向けて精力的に活動していきたい」と述べるとともに、「これからも若い人たちが、伊賀支部やそれぞれの会社で活躍できるよう盛り上げてほしい」とあいさつした。

令和7年度は、地域の安心・安全の守り手として災害に対処するための取り組みや、建設業の人材確保・人材育成につながる対策などを計画している。

尾鷲支部

4月22日、尾鷲市内で定時総会を開いた。

平野金人支部長は「われわれは社会資本の整備、地域の守り手として生活を支える重要な役割を果たしている。現場力や防災力、地域との深い信頼関係を軸に新たな価値を打ち出していきたい」とあいさつした。

令和7年度は、公共事業予算の確保や適正な入札・契約制度の実現に向けた要望活動や組織力の強化などに取り組む。

熊野支部

4月24日、熊野市内で定時総会を開いた。

井本伊織支部長は、「建設DXやICT施工などを活用することで生産性を高め、作業の効率化が図られるよう、会員各自が積極的に取り組んでほしい」と話した。

令和7年度は、建設産業の活性化に努めるなど、生産性の向上・自助努力への取り組みを計画している。

令和7年度 建設業新入社員研修会を開催



概要

建設業新入社員研修会は、建設業界に入職された方を対象に、社会人・企業人としての資質の向上・建設業に携わる者としての意識の高揚を図り、有為な人材の育成・定着を図ることを目的に当協会で開催しています。

今年度は18社30名が参加し、グループ学習を中心に仲間意識の醸成に取り組むほか、集団行動を通じ「個人と集団」・「礼儀と節度」等の社会的ルールを学びました。

1日目

花輪孝樹先生から挨拶やビジネスマナー等の講義を受け、社会人としての責任と義務を学びました。スタートから厳格な雰囲気、みなさん、圧倒されておりましたが、会社の社員であり仕事の一環であるという自覚を持ち、真剣な様子で講義を受講されていました。

2日目

1日目に学んだコミュニケーション力の実践の場として演習を主体に「実践話法演習」や「スピーチ演習」等の講義が行われました。『私の仕事に取り組む決意』という題で実際にスピーチを考え発表をし意思伝達力を学びました。

2日間を通し、自覚を持ち続け、参加者の皆さん方、最後まで真面目に取り組んでおられました。

参加者の声

- ・ 他社の人と話すことによっていろんな意見が出て参考になった。
- ・ その場で考えて話すことが苦手なので、その練習ができてよかった。
- ・ 会社で周りに新人があまりおらず他社の新人の方と意見交換・情報交換ができてよかった。
- ・ この研修でもらったアドバイスなどをこれからの生活で生かしていきたい。
- ・ グループワークが多くて楽しく参加できた。



UNDER 2000
MIE

令和7年度

墜落災害防止強調月間

あせるな

いそぐな

おこたるな

「墜落・転落」による労働災害は、建設業に関わらず、運輸業のほか、様々な業種で多発し、他の労働災害に比べて被災による重篤度が高くなっています。

三重労働局・各労働基準監督署では、7月と12月を「墜落災害防止強調月間」と定め、墜落災害防止の取組を推進しています。

作業に応じた「墜落によるリスクの低減措置」を図りましょう。



※（ ）の数値、死亡災害を内数で示したものと

令和6年に発生した墜落による死亡災害事例

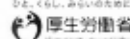
業 種	被災者の職種・年齢	災害発生状況
道路貨物運送業	運転者 50代	被災者は、地上約3mのトラック荷台上で荷積み作業中、荷台上から地面に墜落した。
ビルメンテナンス業	清掃員 70代	被災者は、ハンディ型の掃除機を使用し階段の清掃作業中、階段を転落した。
その他の建設業	はつり工 40代	被災者らは、足場の作業床上で作業中、作業によって生じた堆積物により作業床が崩壊し、底部まで墜落した。
	はつり工 30代	

三重労働局では、死亡災害の撲滅と死傷災害2,000人未満を目指して
「令和7年死亡災害ゼロ・アンダー2,000みえ推進運動」
 を展開しています。

令和7年 アンダー2000みえ

検索

ひとくらし、みえの未来に



厚生労働省 三重労働局・各労働基準監督署



1 足場、屋根等からの墜落・転落災害の防止

足場からの墜落災害は、墜落防止措置の不備、労働者の不安全行動や無理な姿勢による作業、床材や手すり等の緊結不備により発生しています。

- ☐ ①足場設置のための幅が1 m以上確保できる箇所には、本足場を使用しましょう。※
- ☐ ②足場には、法令に基づき、手すり、中さん等を設置しましょう。※
- ☐ ③足場には、「より安全な措置」に基づき、上さんや幅木などを設置しましょう。
- ☐ ④作業床の端、開口部には、囲い、手すり、覆い等を設置しましょう。※
- ☐ ⑤墜落制止用器具は、フルハーネス型安全帯等高さに応じた物を使用しましょう。※
- ☐ ⑥墜落制止用器具を使用するための親綱を必要に応じて設置しましょう。※
- ☐ ⑦足場の点検者を指名し、床材や手すり等の点検・補修を行い、氏名と結果を保存しましょう。※
- ☐ ⑧組立・解体の作業手順を周知しましょう。
- ☐ ⑨新規入場者教育等必要な安全衛生教育を行いましょう。※

※が未実施の場合、法令に抵触することがあります。



2 はしご、脚立や階段からの墜落・転落災害の防止

はしご、脚立や階段における災害は、移動中の足の滑り・踏み外し、はしご脚部の滑り、脚立上においてバランスを崩すことによる災害も発生しています。過去の災害事例を見ますと死亡災害も発生しています。

はしごや脚立の使用の前に、床面の広いローリングタワー（移動式足場）や作業台等の使用を検討しましょう。

- ☐ ①はしごの上部・下部を固定しましょう。※
(固定できない時は、他の人が支えてください)
- ☐ ②はしごの上端を上端床から60 cm以上突出させてください。
- ☐ ③はしごの立て掛け角度を75度程度確保しましょう。
- ☐ ④はしご、脚立から身体を乗り出さないように作業をしましょう。
- ☐ ⑤はしご、脚立の昇降時には手に荷物を持たずに昇降しましょう。
- ☐ ⑥脚立の天板に乗って作業をしないでください。
- ☐ ⑦移動中、足元の確認を徹底させ、踏み外しを防止しましょう。
- ☐ ⑧階段付近は十分な明るさを確保し、足元が見える状態で昇降しましょう。

※が未実施の場合、法令に抵触することがあります。



3 荷役作業時における墜落・転落災害の防止

荷役作業における墜落災害は、荷台作業中の足の滑り、つまずき、体勢を崩すことや、降車時のステップの踏み外し等により発生しています。その他、荷の固定中に固定具が外れた反動で墜落する災害も発生しています。

- ☐ ①雨天時等滑りやすい状態で作業を行う場合には耐滑性の靴を使用しましょう。
- ☐ ②作業を行う前に作業場所や周辺の床・地面の凹凸などの確認、整理整頓を行いましょう。
- ☐ ③トラックの荷台や荷の上での作業及び移動はできるだけ避け、地上での作業や地上を移動することを検討しましょう。
- ☐ ④やむを得ず荷台や荷の上で作業をする際は、荷台端部付近で背を荷台外側に向けないようにし、後ずさりしないようにしましょう。
- ☐ ⑤テールゲートリフターを使用して荷を積み卸す作業に対して特別教育を実施しましょう。※
- ☐ ⑥床面と荷台との昇降について安全に昇降できる設備を設置しましょう。
(積載荷重2トン以上の貨物自動車)。※
- ☐ ⑦保護帽を着用しましょう (積載荷重2トン以上の貨物自動車)。

※が未実施の場合、法令に抵触することがあります。



KKS 株式会社 建設経営サービス

建設企業のキャッシュフローの改善を支援します

KKS金融サービスのご案内**KKS保証ファクタリング**

「KKS保証ファクタリング」は、国土交通省が創設した『下請債権保全支援事業』に基づき、お客様がお取引先（建設企業）に対して有する債権（売掛金・手形・電子記録債権）の決済を弊社が保証するサービスです。

債権保全の強化

債権が回収できない場合は、お取引先（建設企業）に代わってお支払いします

助成による保証料の減免

保証料率の33%（年率1.5%を上限）が国の助成により減免されます

債権の現金化

手形・電子記録債権の現金化にも対応しています。
不渡り時でも買戻し不要であるため、安心です

取引先の拡大

ファクタリングの活用により、社内の与信限度を超えた取引の拡大が図れます

*保証に際しては、弊社所定の審査があります。審査の結果により、ご希望に沿えない場合があります。

まずはお電話ください ☎ **03-3545-8562**

発行人・お問合せ先

東日本建設業保証株式会社グループ

KKS 株式会社 建設経営サービス

（貸金業登録番号 関東財務局長（5）第01480号）

金融第一部

〒104-0045 東京都中央区築地5-5-12

URL <https://www.kks-21.com> TEL 03-3545-8523 FAX 03-3545-8530

金融第二部

宮城営業所

愛知営業所

石川営業所

東京都中央区築地5-5-12

宮城県仙台市青葉区支倉町2-48

愛知県名古屋市中区武平町5-1

石川県金沢市弥生2-1-23

TEL 03-3545-8523

TEL 022-262-8622

TEL 052-962-3525

TEL 076-242-1285

● 会員の新規入会

令和7年6月20日 理事会

支部	会 社 名	代表者名	所 在 地	電話／FAX
四日市市	㈱藤正建設	代表取締役 須 藤 正 治	〒510-8034 四日市市大矢知町557-7	059-366-7180／059-366-7101

● 会員の代表者の変更

支部	変更事項	変 更 前	変 更 後
四日市市	代 表 者	別府建設㈱ 代表取締役 谷 垣 武 志	別府建設㈱ 代表取締役 谷 垣 惇 行
伊勢	代 表 者	㈱西工務店 代表取締役 西 正 光	㈱西工務店 代表取締役 西 季 保
伊賀	代 表 者	㈱後出建材土木 代表取締役 井 上 登	㈱後出建材土木 代表取締役 内 田 俊 彦

● 会員の退会

支部	会 社 名	代 表 者 名	所 在 地
四日市市	㈱堤組	代表取締役 堤 基 博	四日市市日永東3-9-19

協 会 日 誌

令和7年5月16日～7月15日

主たる会議

◎5月28日 11時00分から

- ・令和7年5月正副会長会議
三重県建設産業会館 4階北会議室
正副会長会議協議事項
1 6月4日総会について

◎5月28日 13時30分から

- ・令和7年5月常任理事会
三重県建設産業会館 2階役員室
理事会承認事項
1 会員の新規入会について
2 代表者等の変更について
その他
3 CCUS

◎その他の会議

- 5月28日 15時30分から
県土整備部との意見交換

◎5月30日 10時00分から

- ・令和7年5月事務長会議
Web
会議事項
1 6月4日総会の受付の協力依頼について
(1) 総会の役員および会員の受付について
(2) 合同表彰式の受付について
2 6月4日総会の受付事務の協力依頼および総会欠席者への総会資料の周知方法について
3 その他
・各支部の財務上の資金繰りの状況確認について
・事務長会議の日程調整について
・令和7年4月25日付け「代表者等の変更」の添付書類の記入例及び作成にあたっての留意事項について (文言の訂正)

◎6月20日 11時00分から

- ・令和7年6月正副会長会議
三重県建設産業会館 4階北会議室
正副会長会議協議事項
1 6月24日総会について

◎6月20日 12時30分から

- ・令和7年6月常任理事会
三重県建設産業会館 2階役員室
理事会承認事項
1 会員の新規入会について
2 代表者等の変更について
理事会報告事項
3 実質的経営権を有する者及び代表者の変更に関する手続きについて
4 会員による非会員の企業買収に伴う代表者の変更
5 会員の退会
6 女性部会のSNSによる情報発信について
7 宮城県建協東日本大震災の対応に関する視察報告について
常任理事会報告事項
8 協会役員（正副会長・常任理事）と女性部会との意見交換
9 10月1日開催の常任理事会等について

◎6月20日 14時10分から

- ・令和7年6月理事会
三重県建設産業会館 4階会議室
理事会承認事項
1 会員の新規入会について
2 代表者等の変更について
理事会報告事項
3 実質的経営権を有する者及び代表者の変更に関する手続きについて
4 会員による非会員の企業買収に伴う代表者の変更
5 会員の退会
6 女性部会のSNSによる情報発信について

- 7 宮城県建協東日本大震災の対応に関する視察報告について
 8 令和7年度三重県建設業協会 今後の事業予定
 9 CCUSについて

◎6月23日 13時30分から

・令和7年6月土木委員会

三重県建設産業会館 4階会議室
 三重県県土整備部との意見交換会

議 題

- (1) 週休2日制 週単位の追加について (公共事業運営課)
 (2) 工事における現場環境改善費について (技術管理課)
 (3) 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の追加について (建設業課)

令和7年6月土木委員会

議 題

- (1) 第11回災害対応実動訓練について
 ①これまでの決定事項
 ②建設市場整備推進事業費補助金
 ③訓練内容と担当支部の検討
 ④会場レイアウト図の検討
 ⑤訓練当日のスケジュール (案)
 ⑥訓練実施までのスケジュール (案)
 ⑦来賓依頼一覧 (案)
 ⑧会場設営の委託先及び委託内容
 (2) CCUSについて
 (3) 第11回災害対応実動訓練会場の下見並びに土木委員会の開催について

◎6月26日 13時30分から

・第13回女性部会

三重県建設産業会館 4階会議室

1 オリエンテーション

- ・挨拶 (加藤部会長)
 ・事務局からの報告事項
 ・事務局より議事についての説明

2 議事

- (1) 今年度の県工事の発注について
 (2) 今年度の取組みについて
 ・各グループの取組案
 (3) グループでの取組み
 (4) グループでの取組み結果の発表と意見交換
 ・取組み結果の発表
 ・取組み結果の報告後の全体での意見交換

◎6月27日 10時00分から

・令和7年6月事務長会議

Web

会議事項

- 1 令和7年7月事務長会議について

◎7月8日 13時30分から

・令和7年7月建設業活性化ビジョン検討委員会と三重県県土整備部との意見交換会

三重県建設産業会館 4階会議室

- 1 三重県建設産業活性化プラン2024における令和7年度の取組方針について

- ・プラン効果検証にかかる活性化ビジョン検討委員会の位置づけ及び効果検証スケジュール
 ・令和6年度の効果検証を踏まえた令和7年度の取組方針

2 意見交換

- 3 地域建設業の財務分析について

その他の会議・研修等

5月20日 津労働基準協会 通常総会 [津市]
 5月20日～22日 令和7年度 建設DX (デジタルトランスフォーメーション) とAI実体験研修 (第2回) (19名) [津市]

5月21日 令和7年度 第1回品質管理監査会議 [津市]

5月22日 第16回南海トラフ地震対策中部圏戦略会議及び第9回中部ブロック南海トラフ地震防災対策推進連絡会 (Web)

5月22日 三重ブロック災害対策用機械操作訓練 [尾鷲市]
 5月22日 (公社)津法人会 第13回通常総会・記念講演会 [津市]

5月23日 東日本建設業保証(株) 取締役会 [東京都]
 5月25日 令和7年度木曽三川連合総合水防演習 [岐阜県]

5月26日～27日 令和7年度 2級土木施工管理 (1次前期) 検定受験対策研修会 (15名) [津市]

5月27日 (公財)三重県宅地建物取引業協会 令和7年度定時総会 [津市]

5月28日 三重ブロック災害対策用機械操作訓練 [桑名市]

5月28日 令和7年度三重県職業能力開発協会通常総会 [津市]

5月29日 (一社)日本建設機械施工協会中部支部 第14回中部支部通常総会総会 [名古屋]

5月29日 三重労働局人材確保対策推進協議会 [津市]

5月30日 三重ブロック災害対策用機械操作訓練 [松阪市]

5月31日 (一社)三重県建築士会 令和7年度通常総会 [名張市]

6月2日 第1回みえの木建築コンクール実行委員会 [津市]

6月3日 第1回(特非)三重県木造住宅耐震促進協議会 代表者会議 [津市]

6月4日 21世紀のエネルギーを考える会・みえ 理事会・総会および記念講演会 [津市]

6月4日 (一社)三重県建築士事務所協会 令和7年度通常総会 懇親会 [津市]

6月6日 東海受信環境クリーン協議会 第77回総会等 [名古屋]

6月9日 令和7年度「三重県暴力排除対策連絡協議会」総会 [津市]

6月9日 (一社)三重県建設資材試験センター 第1回理事会 [松阪市]

6月9日 (特非)三重県木造住宅耐震促進協議会 第1回理事会・通常総会 [津市]

6月9日～10日 令和7年度建設業新入社員研修会 (30名) [津市]

6月10日 令和7年度定時総会等 [東京都]

6月10日 (一社)三重県産業廃棄物協会 第14回通常総会 [四日市]

6月12日 令和7年度三重県建設業労働時間削減推進協議会 [津市]

6月12日 令和7年度労働災害防止に関する建設工事関係者連絡会議 [津市]

6月15日 (特非)三重県日本中国友好協会 理事会 [津市]

6月16日 三重県教諭事業協力会 令和7年度総会 [津市]

6月16日～17日 令和7年度 1級土木施工管理 (1次) 検定受験対策研修会 (25名) [津市]

6月17日 令和7年度三重県産業教育振興会総会・研修会 [津市]

6月20日 三重県就労支援事業者機構 令和7年度理事会・総会 [津市]

6月24日 第1回「三重県木材利用推進連絡会」 [津市]

6月25日 (公社)三重県緑化推進協会 令和7年度定時総会 [津市]

6月25日 東日本建設業保証(株) 第73回定時株主総会 [東京都]

6月25日 (一社)三重県建設資材試験センター 第17回定時総会 [松阪市]

6月28日 志摩市空き家無料相談会 [志摩市]

7月2日 (一財)建設業振興基金 監理技術者テレビ講習 (17名) [津市]

7月10日 国土交通大臣表彰式典 [東京都]

7月12日 (特非)三重県日本中国友好協会 第15回通常総会 [津市]

7月14日 令和7年度「三重県警察官友の会 理事会・通常総会」 [津市]

7月14日 令和7年度三重県人材啓発懇話会総会及び講演会 [津市]

助け合い、未来を創る。



建設業界による自主的な
共済保険で保険料が安い。

元請・下請問わず
無記名で補償。

元請・下請それぞれの
保険契約者へ重複支払い。

企業の諸費用部分も補償。

事業主(保険契約者)への
速やかな支払い。

経営事項審査において
15点の加点。

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門驛平タワー11階

取扱機関

(一社)三重県建設業協会

〒514-0003 津市桜橋2-177-2 TEL.059-224-4116 FAX.059-228-6143

詳しい情報、保険料試算など
お問い合わせは

Tel. 03-3591-8451

<http://www.kyousaidan.or.jp/>

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学
事業

被災者(死亡および身体障害・傷病3級以上)の子供に
対して、要保育期間および小学校から大学までの在学
期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

建退共からのお知らせ

建退共制度のご案内

この制度は、建設現場で働く方々のために、「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。事業主の方は、現場で働く方々の共済手帳に働いた日数に応じて、掛金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに、建退共から退職金を支払うといういわば業界全体での退職金制度です。

国の制度
**5つの
特長**

1

国の制度なので安全確実かつ簡単

退職金は国で定められた基準により計算して確実に支払われます。手続はきわめて簡単です。

2

退職金は企業間を通算して計算

退職金は、A企業からB企業にかわっても、それぞれの期間が全部通算して計算されます。

3

国が掛金の一部を補助

新たに加入した労働者(被共済者)については、国が掛金の一部(初回交付の手帳の50日分)を補助します。

4

掛金は損金扱い

掛金は、税法上全額について、法人では損金、個人企業では必要経費として扱われます。(法人税法施行令第135条第1号、所得税法施行令第64条第2項)

5

経営事項審査で加点

公共工事の入札に参加するための経審において、制度に加入し履行している場合には、加点評価されます。

(注) 資本金または出資金が1億円を超える法人の法人事業税には、外形標準課税が適用されますので、ご注意ください。

お問い合わせは

独立行政法人
勤労者退職金共済機構

建退共三重県支部

〒514-0003 津市桜橋2丁目177-2

☎059-253-6505